



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 名鉄運輸株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 9077 URL <http://www.meitetsuunyu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 雄己  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 吉川 篤史 (TEL) 052(935)5721  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	69,935	△0.6	2,341	3.3	2,322	2.1	1,368	48.7
25年3月期第3四半期	70,358	5.8	2,266	△21.6	2,275	△20.0	920	△32.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,648百万円(61.6%) 25年3月期第3四半期 1,020百万円(△34.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	56 34	—
25年3月期第3四半期	37 89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	80,699	14,768	17.3
25年3月期	80,071	13,210	15.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 13,932百万円 25年3月期 12,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	3 50	3 50
26年3月期	—	0 00	—		
26年3月期(予想)				3 50	3 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,500	△0.9	2,100	△8.4	1,900	△16.0	700	△9.4	28 81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期3Q	24,402,991株	25年3月期	24,402,991株
26年3月期3Q	108,137株	25年3月期	106,275株
26年3月期3Q	24,295,943株	25年3月期3Q	24,298,812株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業的前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急経済対策による公共投資の増加や、米国経済の堅調な成長及び円安による輸出環境の改善などから企業収益が改善基調となったことに加え、消費税増税を前にして耐久消費財など個人消費での駆け込み需要が重なるなど、堅調に推移しました。

物流業界におきましても、貨物輸送量は増加傾向で推移しましたが、円安を通じた軽油価格の高止まりや、乗務員不足、委託料の上昇など、引き続き厳しい事業環境で推移しました。

当社グループでは、このような事業環境の中で、新中期経営計画の2年目として、コア事業である混載事業における収益向上を図り、持続的な成長を目指した施策を展開しました。

営業面におきましては、グループの営業力強化を図るため、首都圏においてグループ各社の連携を強化して、営業情報の共有化、総合営業による全国での出荷案件獲得及び顧客の囲い込みを積極的に展開しました。また、名鉄トラックグループの共同プロジェクトとして業務・輸送システムの再構築に向けた諸施策を推進しました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比0.6%減の69,935百万円となったものの、営業利益は前年同期比3.3%増の2,341百万円、経常利益は前年同期比2.1%増の2,322百万円となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損など特別損失が大幅に減少したことにより、前年同期比48.7%増の1,368百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

## (貨物自動車運送事業)

貨物自動車運送事業では、景気回復基調の中、企業の生産活動改善により貨物輸送量は堅調に推移しました。これにより売上高は前年同期比1.7%増の62,051百万円となりましたが、運送委託の増加や軽油価格の高止まりなどによる費用の増加もあり、売上総利益は前年同期比3.3%減の4,284百万円となりました。

## (航空利用運送事業)

航空利用運送事業では、国内航空貨物の取扱量の減少や、出荷量の減少などにより、売上高は前年同期比6.2%減の5,938百万円となりました。一方で営業拠点の合理化による施設使用料などの減少効果もあり、売上総利益は前年同期比10.9%増の442百万円となりました。

## (流通事業)

流通事業では、個人消費の回復を受けて消費関連貨物の主要顧客を中心に取扱量は堅調に推移しましたが、一部の流通加工事業からの撤退や、メーカーの生産調整による請負業務の減少が大きく影響し、売上高は前年同期比23.4%減の3,207百万円、売上総利益は前年同期比11.9%減の341百万円となりました。

## (その他)

その他の事業では、新規の賃貸開始などにより、売上高は前年同期比18.7%増の111百万円となり、売上総利益は前年同期比23.4%増の86百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## [資産の部]

流動資産は、前連結会計年度に比べて517百万円増加し、15,909百万円となりました。これは、繰延税金資産が295百万円減少した一方で、受取手形及び営業未収入金が389百万円増加したことや、前払費用の増加などによりその他が378百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べて109百万円増加し、64,789百万円となりました。これは、減価償却などにより有形固定資産が96百万円減少した一方で、投資有価証券の時価上昇などにより投資その他の資産が139百万円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べて627百万円増加し、80,699百万円となりました。

## [負債の部]

流動負債は、前連結会計年度に比べて6,288百万円減少し、34,236百万円となりました。これは、短期借入金が6,597百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べて5,357百万円増加し、31,693百万円となりました。これは、長期借入金が5,072百万円増加したことなどによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べて930百万円減少し、65,930百万円となりました。

## [純資産の部]

純資産合計は、前連結会計年度に比べて1,557百万円増加し、14,768百万円となりました。これは、主として利益剰余金が1,283百万円増加したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね予定通りに推移しており、平成26年3月期通期の業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

なお、今後、業績予想に大きな変化がある場合には適時に開示してまいります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	553	587
受取手形及び営業未収入金	13,358	13,748
有価証券	2	2
貯蔵品	187	197
繰延税金資産	388	92
その他	939	1,317
貸倒引当金	△37	△34
流動資産合計	15,392	15,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	35,631	34,860
減価償却累計額	△23,927	△23,727
建物及び構築物(純額)	11,703	11,133
機械装置及び運搬具	25,539	25,592
減価償却累計額	△18,123	△17,570
機械装置及び運搬具(純額)	7,415	8,021
土地	38,239	38,158
リース資産	1,183	1,157
減価償却累計額	△831	△874
リース資産(純額)	351	283
建設仮勘定	—	35
その他	1,388	1,369
減価償却累計額	△1,020	△1,020
その他(純額)	367	349
有形固定資産合計	58,077	57,980
無形固定資産		
リース資産	119	54
その他	518	651
無形固定資産合計	637	705
投資その他の資産		
投資有価証券	2,403	2,770
長期貸付金	78	76
繰延税金資産	1,112	1,046
その他	2,462	2,293
貸倒引当金	△92	△83
投資その他の資産合計	5,964	6,103
固定資産合計	64,679	64,789
資産合計	80,071	80,699

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	9,088	9,574
短期借入金	19,968	13,370
1年内返済予定の長期借入金	5,597	5,445
リース債務	189	113
未払法人税等	260	338
賞与引当金	234	31
その他	5,186	5,362
流動負債合計	40,525	34,236
固定負債		
長期借入金	14,799	19,872
リース債務	217	157
繰延税金負債	314	317
退職給付引当金	7,474	7,852
役員退職慰労引当金	153	124
資産除去債務	595	602
再評価に係る繰延税金負債	2,366	2,366
その他	414	399
固定負債合計	26,336	31,693
負債合計	66,861	65,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,065	2,065
資本剰余金	1,534	1,534
利益剰余金	6,703	7,986
自己株式	△20	△21
株主資本合計	10,283	11,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	424	654
土地再評価差額金	1,711	1,711
その他の包括利益累計額合計	2,135	2,365
少数株主持分	791	835
純資産合計	13,210	14,768
負債純資産合計	80,071	80,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	70,358	69,935
売上原価	65,146	64,854
売上総利益	5,211	5,081
販売費及び一般管理費		
人件費	1,588	1,486
施設使用料	440	423
その他	915	828
販売費及び一般管理費合計	2,945	2,739
営業利益	2,266	2,341
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	53	58
持分法による投資利益	8	10
受取手数料	51	45
補助金収入	83	13
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	74	67
営業外収益合計	276	198
営業外費用		
支払利息	253	199
その他	13	17
営業外費用合計	266	217
経常利益	2,275	2,322
特別利益		
固定資産売却益	129	201
負ののれん発生益	26	—
その他	18	15
特別利益合計	174	216
特別損失		
固定資産処分損	40	97
減損損失	62	3
投資有価証券評価損	160	0
退職給付費用	9	9
事業整理損失引当金繰入額	326	—
その他	2	25
特別損失合計	601	136
税金等調整前四半期純利益	1,848	2,403
法人税、住民税及び事業税	1,058	738
法人税等調整額	△192	248
法人税等合計	866	986
少数株主損益調整前四半期純利益	981	1,416
少数株主利益	60	47
四半期純利益	920	1,368



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	981	1,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	232
その他の包括利益合計	38	232
四半期包括利益	1,020	1,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	961	1,598
少数株主に係る四半期包括利益	58	50

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	59,851	6,253	4,159	70,264	93	70,358	—	70,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,138	79	30	1,248	—	1,248	△1,248	—
計	60,989	6,332	4,190	71,512	93	71,606	△1,248	70,358
セグメント利益	4,432	399	387	5,219	70	5,289	△78	5,211

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	貨物 自動車 運送事業	航空利用 運送事業	流通事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	60,815	5,826	3,183	69,824	111	69,935	—	69,935
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,235	112	24	1,372	—	1,372	△1,372	—
計	62,051	5,938	3,207	71,197	111	71,308	△1,372	69,935
セグメント利益	4,284	442	341	5,068	86	5,155	△74	5,081

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。